

公 告

(参加意思確認公募)

株式会社リロエクスセルが、独立行政法人国際協力機構から委託され実施する予定の案件に関し、別紙のとおり公募参加確認書の提出を招請します。

なお、本件公告に関するお問い合わせは、株式会社リロエクスセル 国際協力事業ユニット（メール：rei-uketsuke@relo.jp、担当：森）宛にお願いします。

2024 年 7 月 16 日

株式会社リロエクスセル
代表取締役 大黒 誉典

**2024 年度「モンゴル日本センター（MOJC）第 4 回技術研修」
企画に係る参加意思確認公募について**

株式会社リロエクセル（以下「REI」という。）は以下の業務について、様式のとおり参加意思確認書の提出を公募します。

本業務は、REI が独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という。）から委託されている「モンゴル国モンゴル日本人材開発センタービジネス人材育成・交流拠点機能強化プロジェクト フェーズ 2（第 2 期）業務実施契約」において実施するもので、モンゴル日本人材開発センター（以下「MOJC」という。）のビジネスコース受講者に対し、所定の案件目標を達成するべく、経営管理に関する必要な知識の習得や、自社のさらなる発展のための気づきを得ることを目的とした本邦研修に関する企画を行うものです。

本業務の遂行にあたっては、公益財団法人 北九州国際技術協力協会（以下「特定者」という。）を契約の相手先として、JICA 所定の基準に基づき経費を積算したうえで契約を締結する予定です。

特定者は、1980 年設立以降、多数の訪日研修を実施し、累計で 1,200 件以上、受入研修員総数 1 万人を超え、参加国も 168 カ国に及ぶ実績があります。委託元は、JICA・JETRO・環境省・北九州市・各種団体等であり、主に北九州地域の 300 以上の民間企業、経済団体、自治体、大学等と連携しながら研修事業を実施しています。これらの実績から、以下の「2 応募要件」を満たし、本件業務を適切に実施し得る要件を備えていますが、特定者以外の者で応募要件を満たし、本業務の実施を希望する者の有無を確認する目的で、参加意思確認書の提出を招請する公募を実施します。

1 業務内容

別添の通り。

2 応募要件

（1）基本的要件

- ① 業務内容を遂行する法人としての能力を備え、実施体制を構築できるもの。
- ② 九州における類似業務の経験が豊富で、同地域で幅広い企業及び人的ネットワークを有していること。
- ③ 当該本邦研修の期間中に本業務を遂行可能なこと（他業務に従事していないこと）

（2）資格要件等

- ① 日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であること。
- ② 会社更正法（平成 14 年法律第 154 号）又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）の適用の申立てを行っている場合は、更生計画又は再生計画が発効していること。
- ③ 競争から反社会的勢力を排除するため、競争に参加しようとする者（以

下、「応札者」という。)が、以下のいずれにも該当しないこと、および、当該契約満了までの将来においても該当することはないことを誓約していること。なお、参加意思確認書の提出をもって、誓約したものとします。当該誓約事項による誓約に虚偽があった場合又は誓約に反する事態が生じた場合は、参加意思確認書を無効とします。

- ア. 応札者の役員が、暴力団、暴力団員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力団等（これらに準ずるもの又はその構成員を含む。平成16年10月25日付警察庁次長通達「組織犯罪対策要綱」に準じる。以下、「反社会的勢力」という。）である。
- イ. 応札者の役員が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2号第6号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しないものである。
- ウ. 反社会的勢力が応札者の経営に実質的に関与している。
- エ. 応札者又は応札者の役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、反社会的勢力を利用するなどしている。
- オ. 応札者又は応札者の役員が、反社会的勢力に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に反社会的勢力の維持、運営に協力し、若しくは関与している。
- カ. 応札者又は応札者の役員が、反社会的勢力であることを知りながらこれを不当に利用するなどしている。
- キ. 応札者又は応札者の役員が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有している。
- ク. その他、応札者が東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号）又はこれに相当する他の地方公共団体の条例に定める禁止行為を行っている。

3 手続きのスケジュール

(1) 参加意思確認申請書の提出	提出期間	2024年7月16日（火）14時から 2024年7月26日（金）14時まで
	提出場所	REI 国際協力事業ユニット（担当：森） Eメール rei-uketsuke@relo.jp
	提出書類	参加意思確認書、2 応募要件に求める実績等を証明する資料
	提出方法	Eメール
(2) 審査結果の通知	通知日	2024年7月29日（月）まで
	通知方法	Eメール

4 その他

- (1) 提出期限を過ぎて提出された参加意思確認書等は無効とします。
- (2) 参加意思確認書等の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とします。
- (3) 提出された参加意思確認書等は返却しません。
- (4) REI は提出された参加意思確認書等を、参加意思確認書等の審査の目的以外に提出者に無断で使用しません。

- (5) 提出期限以降における参加意思確認書の差替え及び再提出は認めません。
- (6) 公募の結果、応募要件を満たす者がいない場合は、特定者との随意契約手続きに移行します。また、応募要件を満たす者がいる場合は、指名による競争（質及びコストに基づく選定）を行います。その場合の日時、場所等の詳細は、応募要件を満たす者及び特定者に対して、別途連絡します。
- (7) 予算の事情により、当該手続きを中止する場合があります。

以 上

業務内容

1 研修コース概要

(1) 研修コース名

2024 年度「モンゴル日本センター (MOJC) 第 4 回技術研修」

(2) 研修実施の背景

本プロジェクトでは、モンゴル日本人材開発センター（以下、「MOJC」）における同国の産業多角化・産業振興を担う経営者人材の育成に係る支援を行うとともに、MOJC がビジネス交流の拠点となるべく活動を行っている。MOJC は、企業経営者・管理職層の経営課題解決能力の強化を目的とするビジネスコースの実施等を通じ、モンゴル経済を担う経営者人材の育成に係る支援を行い、モンゴルにおける産業人材育成機関としての実績を重ねている。一方、こうした活動を進め日本センターとしての自立的運営を促進するためには、現地講師や MOJC 職員の能力強化が必須となっている。

本研修において、MOJC ビジネスコース修了者は現地で学習した内容について、日本の現場視察や経営者との意見交換等を通じて理解を深め、自社のさらなる発展のための気づきを得ることを目的として来日する。また、MOJC の現地講師及び MOJC 中堅職員も同行し、自立的運営を促進するための知見を深める。

(3) 研修の目的

研修の目標：

- ① MOJC のビジネスコース修了者が現地での講義や討議を通じた学びに対する理解を深め、自社の業務改善や発展のための知見を得る。
- ② 現地講師が科目最新動向把握、ビジネスコースケーススタディ、日本人講師の教授法の知見を得る。
- ③ MOJC 中堅職員が部門横断での事業企画能力強化、部下育成能力強化の知見を得る。

単元目標：

- ① 現地コースでの講義・討議を通して学んだ日本的経営や日本の企業文化についての理解を深める。
- ② 研修員が自社の課題と認識する分野やモンゴル企業の発展に必要な分野についての事例を学ぶ。
- ③ (現地講師、MOJC 職員) ケーススタディや日本でのビジネスの最新動向を学び、教授法についても知見を得る。
- ④ 本邦研修で得た知見を自社の業務改善に活かすためのアクションプランを作成する。

(4) 研修期間 (予定)

- ① 全体研修期間：2024 年 10 月 20 日 (日) 来日～2024 年 11 月 2 日 (土) 離日
- ② 委託期間：上記期間、北九州で実施する 3 日間
- ③ 研修日程 (案)：

日付 ※必須	時刻	形態	研修内容 ※必須	都道府県
10/20(日)			来日	福岡県
10/21(月)	AM		JICAブリーフィング	福岡県
10/21(月)	PM	講義	プログラムオリエンテーション	福岡県
10/21(月)	PM	講義	導入講義	福岡県
10/22(火)	AM	視察	企業視察予定①	福岡県
10/22(火)	PM	視察	企業視察予定②	福岡県
10/23(水)	AM	視察	企業視察予定③	福岡県
10/23(水)	PM	視察	企業視察予定④	福岡県
10/24(木)	AM	視察	企業視察予定⑤	福岡県
10/24(木)	PM	視察	企業視察予定⑥	福岡県
10/25(金)	AM	視察	企業視察予定	福岡県
10/25(金)	PM	視察	企業視察予定	福岡県
10/26(土)			自主学習	福岡県
10/27(日)			移動：福岡⇒長崎	長崎県
10/28(月)	AM	視察	企業視察予定	長崎県
10/28(月)	PM	視察	企業視察予定	長崎県
10/29(火)	AM	視察	企業視察予定	長崎県
10/29(火)	PM	視察	企業視察予定	長崎県
10/29(火)	PM	視察	移動：長崎⇒福岡	福岡県
10/30(水)	AM	視察	企業視察予定	福岡県
10/30(水)	PM	視察	企業視察予定	福岡県
10/31(木)	AM	視察	企業視察予定	福岡県
10/31(木)	PM	講義	振り返り	福岡県
11/1(金)	AM	発表	成果発表①	福岡県
11/1(金)	PM	発表	成果発表②	福岡県
11/1(金)	PM		評価会	福岡県
11/1(金)	PM		閉講式	福岡県
11/2(土)			離日	

※新型コロナウイルスの感染拡大等の状況により、本研修が延期と判断される場合があります。

(5) 対象となる研修員

MOJC ビジネスコース修了者（モンゴル国の経営者等）18 人

MOJC 現地講師 2 人

MOJC 職員 2 人

（計 22 人予定）

(6) 使用言語： モンゴル語

2 業務の範囲及び内容

実施予定の本邦研修に関して、「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」（2024 年 7 月版）[guide.pdf \(jica.go.jp\)](https://www.jica.go.jp/guide/pdf/guide.pdf)における以下実施業務を行う。

- ① 研修日程・カリキュラムの具体化
- ② 研修日程表（含む見積り）の具現化
- ③ 講師・見学・実習先等の手配・調整・管理
- ④ 講師・見学・実習先等からの資料取付・調整・管理

3 契約金額

JICA が定める基準に基づき積算した見積書を基に、契約交渉を経て決定する。

以上

2024 年 月 日 様式

参加意思確認書

株式会社リロエクスル
代表取締役 大黒 誉典 殿

提出者 (所在地)
(貴社名)
(代表者役職氏名)

「2024 年度モンゴル日本センター (MOJC) 第 4 回技術研修企画に係る参加意思確認公募について」に係る参加意思確認公募において、業務への参加を希望しますので、参加意思確認書を提出します。

記

1 組織概要

※組織概要について記載すること（パンフレット等で代用できる場合は、パンフレットを添付すること）。

2 応募要件に関する記述

※ 公募に掲げる応募要件（基本的要件及び資格要件）を満たしている状況等について記載すること。特に、基本的要件にかかる類似業務の経験を5件まで記載。

※ サイズ：A 4版縦、記載しきれない場合は、別紙添付でも可。

3 付属書類

- ・登記簿謄本（写）
- ・財務諸表（直近1か年分）（写）
- ・納税証明書（その3の3）
- ・営業経歴書（過去 1 年間の事業実績を示す資料など）

以 上